

令和7年2月18日

沖縄県知事  
玉城康裕殿

一般社団法人沖縄県ホテル協会  
会長 平良朝 敬



### 「ラーケーションの日」制度の導入について（要望）

平素より本県観光産業に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、沖縄観光は国内旅行客を中心に回復基調にあり、先日沖縄県より令和6年（暦年）の実績が約966万人で対前年比142万6,100人増（17.3%増）と過去3番目の実績と発表されたところです。今後もインバウンド需要の回復等によりさらに入域者数の拡大が期待されている一方、県内のホテル業界では、新規ホテル開発による競争の激化や、継続的な人材確保の課題など、未だ厳しい状況が続いているところです。

当協会では、国、県、各行政機関や関係団体等と連携し、その課題解決に向けた取組みを推進していきたいと考えております。

その中において、現在、愛知県が先行導入しています「ラーケーションの日」制度の導入においては一定の効果が上がっているとの報告があるとともに、この動きが今後全国的に広がることを見込まれております。この制度により、本県の観光産業や県経済の活性化、働き方改革の推進など、様々な効果が期待されることから、本県の観光施策の1つとして沖縄版「ラーケーションの日」制度の導入を推進して頂きますようお願い申し上げます。

※ラーケーションとは学習（ラーニング）と休暇（バケーション）を組み合わせた造語で、平日に『家族や保護者と一緒に校外学習を行うこと』を目的とした休みを取得できる制度。

#### ■導入のメリット

##### ①観光産業や地域経済の活性化

平日の休暇を促進することで、観光産業の週末型の繁忙期の平準化が図れるとともに、オフシーズンの観光需要喚起や地域住民の雇用の機会創出、また県域交流の拡大による県経済の活性化につながる。

##### ②子どもの主体的な学びを促進

沖縄独自の歴史や伝統文化（紅型、三線、エイサーなど）の学び直しや、自然環境を活用した地域ならではの体験型学習など、教室では得られないリアルな経験や知識を得る機会の創出を図る事ができる。

### ③家族と過ごす時間の確保・外出機会の創出

沖縄県では観光産業など第 3 次産業の就業割合が高く、祝休日に働いている人が多い。児童生徒の平日の休暇取得を推奨することで、家族と過ごす時間の確保や外出の機会を増やすことができる。

### ④働き方改革を推進

有休休暇の取得率を向上させることで、「労働生産性の向上」「健康とウェルビーイングの改善」また「労働者の満足度の向上」などが期待され、県民の幸福度アップに繋がる。

以上